

巻 頭 言

二期目の会長就任のご挨拶

愛知県小児科医会 会長
北條 泰男

第二期目の会長就任のご挨拶を書くに当たり、3年前の一期目の巻頭言を読み返してみました。大役をお引受けしてどこまで出来たか反省することしきりです。少し3年間を振り返り、今後の方向などを考えたいと思います。

平成23年4月の就任早々に拡大執行部会を開催し、年会費の増額、臨床懇談会と子どもの健康を守る会の開催方法、ホームページ作成方法など重要案件をご相談しました。いくつかの変更点など前向きなご意見を頂き、5月理事会で承認されました。慣れない議事運営で今思い起こしても冷や汗ものでした。

就任間もなくの大きな行事としては、平成23年7月の日本小児科医会第13回「子どもの心」研修会後期（名古屋国際会議場レセプションホール）と平成23年8月の第19回日本小児科医会中部ブロック連絡協議会（フォレストヒルズ ホテルフォresta）がありました。いずれも前任の志水名誉会長が準備をされていて、担当役員の先生方によって運営も行われ、慣れない私としては大変助かりました。

印象深い活動もいくつかありました。まずは愛知県広域予防接種事業が愛知県医師会の強力な活動により愛知県の理解を得て、平成26年4月から実施されることです。愛知県小児科医会は平成13年と17年に予防接種広域化の要望書を提出し、平成23年11月理事会でも要望書を提出することが決まりました。愛知県医師会会長選挙に際して公開質問状を送り前向きな回答を得ました。更に13地区全部の地区小児科医会との連名での要望書を愛知県医師会長に提出しました。

平成24年に愛知県が次年度の福祉予算削減のために、小児の医療費一部自己負担を考えているとのマスコミの報道がありました。理事会で理事から反対すべきとの発言もあり、愛知県医師会に問い合わせました。医師会としても反対とのことで、愛知県医師会記者懇談会で報道陣に反対の説明をするように言われました。国の未来は子供にあり、小児の医療

費無料化は少子化対策の意味が大きいことなどを話しました。新聞記者が医院に取材にも来ました。反対の意見は多方面から出て県の25年度予算では何も動きはありませんでした。

直近では、愛知県が支払う乳児健康診査の単価につき、愛知県産婦人科医会のご理解で26年度から改正されわずかですが増額されました。愛知県市長会との愛知県公費による乳児健康診査単価表についての協議会に副会長の先生方と出席し値上げを要望しました。貴重な経験でした。

また、名古屋市小児科医会発行の冊子「子どもの健康のために2013年度版」を愛知県小児科医会のホームページにリンクして頂き、ダウンロードできるようになったことは幼稚園の先生たちなど多くの人に好評でした。

この3年間で起こったことといえば、3年前の東日本大震災があります。平成24年3月の例会講演会では、福島県小児科医会の先生のご講演があり、災害に伴う問題の奥深さを考えさせられた貴重な講演でした。この講演会では急遽、支援金が集められましたが、30万円を超えて集まり、会員の先生方の思いを感じた印象深い出来事でした。

理事職務分担制を採っている委員会は、愛知県小児科医会の実務を分担する役割を担っています。様々にご活躍頂いており、会務遂行上必須のものです。ここ3年で増えましたのは、ホームページ委員会と小児在宅医療委員会と中部ブロック連絡協議会委員会です。名称が変わりましたのは、「地域関連事業」が子育て関連事業（学校保健を含む）委員会となったことです。

今後のことになると、これまでの愛知県小児科医会の活動を更に充実させて、社会に対しても真に子どものためになる小児医療の充実を強く訴えていくことかと思えます。当面の総合診療医の動きからは目が離せません。医療費抑制目的のわずかな期間での安易な医学教育では小児医療の質の低下は避けられません。総合診療医の実態が広く国民の知るところとなり、親たちから従来の小児科専門医がなくなる制度は困ると大きな声が上がってくる必要があります。我々小児科医はこれまで以上に社会の評価を得ていく努力が要求されると思われます。

愛知県小児科医会の活動は、愛知県当局、愛知県医師会、日本小児科医会などへの委員の推薦と会議への出席によって、他の組織の活動とつながっている仕事が多いです。これらの場で子どもの健康問題について子どもの代弁者として発言していく活動を行っております。各種団体からの講演会・研修会な

どの共催や後援依頼も多いです。これも他の組織とのつながりとなる活動です。同業者団体の存在価値は、一人でやれないことを大勢でやって社会の役に立ちたいという思いを実現していくことにあり、そして、仲間がいて同じような思いでいることを知り安心感が持てるということかと思えます。

振り返ってみてこれまでの一期3年間の会務を何とか遂行して来れましたのは、偏に会員の先生方と役員の先生方のご理解とご協力があったおかげの思いをさらに強くしています。二期目にあたり、これまで以上のご鞭撻とご指導をお願い致しましてご挨拶とさせていただきます。